

Nicolay, Nicolas de

Le navigationi et viaggi, fatti nella Tvrchia.

Venetia, F. Ziletti, 1580. (文献番号3-371)

Hiler p.656 Colas 2203 Lipperheide 1399b

ニコライ著

トルコ旅行記

本書は1551年のトルコ、アラビア、ペルシャなどの旅行記であって、1567年のフランス語初版のイタリア語訳であり、数学者フランチェスコ・フローリが翻訳している。ジャコポ・ボンコンパーニョに捧げる献辞がある。トルコ、アラビア、ペルシャ、ギリシャの各国の男女、それも上は高位の聖職者から下は奴隷に至る社会の各階層の人物を描いている。戦時及び平和時の男女の衣服・風習など東洋の衣装の正確な技法を示している。デッサンはニコライが描いているが、銅版の刻版はルイ・ダネが当たっている。

イタリア語訳としては1576年、1577年の版もあるが、双方とも図版は60枚で原本と同じだが、この1580年版では67枚あって、フランス語版より7枚多い。ニコライには1567年版の原本のほか、多少異なった書名ながら同じ内容の本を1576、1586年にも出している。またオランダ語訳、ドイツ語訳（2種）、英語訳も出版されているので、この本が当時大いにもてはやされていたことがわかる。

ニコライはフランスの旅行家。1517年にフランス南部、ドーフィネ地方の寒村ラ・グラヴ・ドワザンに生まれ、1583年パリに没す。初め軍籍にあり、1542年のペルピニャンの攻囲戦に参加。以後ヨーロッパ各地の軍隊に勤務、17年間にドイツ、デンマーク、スエーデン、プロシヤ、イギリス、スコットランド、スペインを遍歴した。この間多くのスケッチを遺している。フランスに戻ってからは当時のフランス王アンリ2世の侍従及び王室付地理学者となった。1551年5月にはコンスタンチノーブルの駐在大使ガブリエル・ダラモンに従ってアルジェ、トリポリ、ギリシャを訪ねている。

彼はヨーロッパの殆ど全ての言語に通じ、又デッサンを描き、地図や書籍の中に入れる版画のデッサンを描いた。彼の作品は芸術的にみても優れており、地理学的にみても正確であった。

図はエミール（イスラム教の教祖マホメットの親族の尊称）の一人。 (植田)

